

〈本体商品の取付情報〉

年式	型式	車種	最大取付数		本体の取付方法						オプション	
			トレードイン	アドオン	キットレス	取付キット使用			備考	1D		2D
						型番	主な付属品	希望小売価格(税別)		46サイズ		46サイズ
H21/6~H23/9	BL5F系 BLFF系 BLEA系 BL3F系	オーディオレス(2D窓付車) 注7	2D		×	KJ-T63DE①		6,500円	注8,9,10 11,13	◎	◎	注13
		M,OPのHDDナビ付車(ワイド2D窓付車)							未調査			
		クラスター体異形ラジオ付 注12			×					注12	×	×

- (注7) 全車標準はオーディオレスです。
- (注8) 本体が少し(約5mm)引っ込んだ状態での取付になります。
- (注9) 車両のアンテナコネクタが2P(GT)コネクタのため、取付キットに同梱のアンテナ変換コネクタ(GT→JASO)を使用します。
- (注10) ディーラーオプションのオーディオ/ナビ付車で「アンテナ変換コード」(GT→JASO)を使用している場合は、マツダ専用24P配線キット KJ-T24P②(希望小売価格2,500円、税別)を使用してキットレス取付けが可能です。
- (注11) メーカーオプションのBOSEサウンドシステム付車は取付不可。
- (注12) メーカーオプションのAM/FMラジオ/CDプレーヤー付車の場合で、純正ラジオはクラスター体の異形ラジオで窓口がなく取付不可。
- (注13) 純正ステアリングリモコン(メーカー呼称「オーディオリモートコントロールスイッチ」)付車の場合、純正ステアリングリモコンにはそのままでは接続できません。オーディオ配線コネクタ(24P)までステアリングリモコン用配線が引き回されている場合に、別売のステアリングリモコンアダプター KK-T202ST③(希望小売価格8,000円、税別)、または別売のステアリングリモコンケーブル KJ-H101SC④(希望小売価格1,500円、税別)を使用すれば車両側配線との接続は可能ですが、取付ける商品によって使用する別売オプションや使用可否が異なりますので、商品別の対応状況他の詳細については、必ず取扱・取付説明書や「純正ステアリングリモコン適合情報」等でご確認ください。但し、ランニングチェンジ(仕様変更)前の取付キットの場合はステアリングリモコンの信号取出用のケーブル(ギボシ)がないため、車両側のステアリングリモコン用配線に直接接続する必要があります。

〔取付キットの主な付属品の記号〕

接続が可能な配線	配線コネクタが付属	電源用アンブロックが付属	取付キットに化粧パネルが付属
	トレードイン取付け専用		
3電源(ACC、常時、イルミネーション)			P
3電源+フロント・スピーカー			
3電源+フロント・スピーカー+リア・スピーカー			

接続方法は取付キット内の取付説明書に掲載。

〔別売オプション関係の記号〕 …… マツダ車

◎	取付化粧パネルが不要	D46サイズをキットレス取付けする場合に、別売の化粧パネルが不要なことを表します。 D46サイズを取付キットを使用して取付ける場合に、取付キット付属以外の、別売化粧パネルが不要なことを表します。
②	マツダ専用配線キット KJ-T24P②が使用可能	別売の専用配線キットが使用できます。②は24P専用でKJ-T24P②(2,500円、税別)の適応車種です。
⑫	マツダ専用配線キット KT-12P⑫が使用可能	別売の専用配線キットが使用できます。⑫は12P専用でKT-12P⑫(2,500円、税別)の適応車種です。特に、オートアンテナ装備車の場合にKT-12P⑫を使用する場合には、オートアンテナ電源用リレーが付属されていますので大変便利です(車種によっては電源リレーを使用しないとオートアンテナが動作しません)。
	FMダイバーシティアンテナ変換コードが必要	FMダイバーシティ方式アンテナ車にトレードイン取付けをする場合で、パイオニア・FMダイバーシティ機能内蔵チューナーデッキアンプ/ハイダウェイチューナーを取付ける時には、別売のアンテナ変換コード RD-AN33(2,000円、税別)を使用します。
Ⓢ	車両の純正ステアリングリモコンが使用可能	別売のステアリングリモコンアダプター、または別売のステアリングリモコンケーブルを使用することにより、車両側のステアリングリモコン用配線との接続が可能であることを表します。 (注) …純正ステアリングリモコン付車でも、車種やグレード、仕様等により使用できない場合がありますのでご注意ください。
Ⓜ	汎用モニター取付金具が使用可能	汎用モニター取付キットKW-27VⅡ⑧(12,000円、税別)がシート取付ボルト部に取付可能です(車種により、助手席シートが当たったり、スライドが充分できなくなる場合がありますので、注記文に注意して取付けてください。また、車種によっては、KW-27VⅡ⑧付属のロッドが使用できない場合もあります)。 (注) …KW-27VⅡ⑧は、助手席エアバック装着車で、エアバックの作動に支障のある場合には、ご使用にならないでください。

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報(PDF)の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。

〈スピーカー商品の取付情報〉

タイプ	取付場所	注記 A	カスタムフィット						注記 B	ボックスタイプ		ユニットタイプ				サテライト		
			TS-V173S	TS-C1730S	TS-F1730S	TS-C1630S	TS-F1030S			TS-X480G	TS-X380X180	TS-E1796	TS-E1676	TS-E1396	TS-E1076	TS-G1030	TS-STH1100	TS-STH700
5ドア (スポーツ)	Fドア		X	X	X	X	X					X	X	X	X			
	インナー バッフル	⑩⑭⑯	㊦⑰⑱	㊦⑰	㊦⑰	㊦⑰												
	Rドア		X	X	X	X					X	X	X					
	インナー バッフル	⑩⑭	㊦	㊦	㊦	㊦												
	Rシェルフ								⑰	⑳㉑	㉒	○						

※5ドア (スポーツ) のH21/6~H23/9車のリアドアには、インナーバッフルUD-K717 (希望小売価格21,000円、税別、2個1組) / UD-K617 (希望小売価格10,000円、税別、2個1組) を使用して「TS-Z132PRS (スパーサー使用)」の取付けが可能です (注⑬参照)。

⑩ インナーバッフルUD-K717 (希望小売価格21,000円、税別、2個1組) / UD-K617 (希望小売価格10,000円、税別、2個1組) 使用可。バッフルを取付けるネジは、ドア側の取付用ネジ穴が樹脂製のボス穴で貫通しておらず、また、ボスの奥行きも長いので付属のボルト/ナットでは取付不可のため、純正スピーカー取付ネジを使用して取付けます。

⑬ リアクォーターウィンドーの上部最後方の横位置にブラケットを取付け、ブラケットの樹脂部を最下方にして前方に傾けた状態で固定して取付けます (トリムの裏側にリブがあるためブラケットが完全には入らないが、強度的には問題なくリブの切欠加工は不要。ブラケットを取付ける位置によってはリブが当たってブラケットが半分位しか入らないため、最も深くブラケットが入る位置に取付けます)。

⑭ メーカーオプションのBOSEサウンドシステム付車を除く (未調査で取付可否は不明)。

⑯ 純正トゥイーター付車 (6スピーカー付) の場合は、純正ドアスピーカー (5×8タイプ) を外すと純正トゥイーター部には信号が流れません。従って、車両側スピーカー用配線を使用する場合で純正トゥイーターをそのまま使用する場合は、純正ドアスピーカー用配線の4Pコネクター部をバイパスさせる配線加工が必要です。

⑰ 取付穴内後方側の鉄板に端子 (または端子カバー) が当たらない方向にし、また、マグネットも当たらないよう、なるべく前方寄りにスピーカーを取付けます (予めバッフルを前方寄りに取付けておくことも有効です)。

⑱ TS-V173Sは奥行有効寸法 (ガラス迄) に余裕が余りないため、車両によってはガラスに当たったり、隙間が少ないため取付不可になることがありますので車両での確認が必要です。

⑲ リアシェルフ付車の場合 (20SのBOSEサウンドシステム付車、20E、マツダスピード アクセラにはリアシェルフはなし)。

⑳ 中心寄りの取付けになります。

㉑ TS-X380は外側をトレイの段差にかけて取付けます。

㉒ メーカーオプションのカーテンエアバッグ付車を除く (取付可否は不明)。

㉓ パッケージトレイ付車の場合、バックドアと連動してトレイが最も開いた状態でもスピーカー本体には当たりません。

㉔ パッケージトレイ付車はリアピラートリムの前方寄りに取付けます (但し、トリム裏側にリブがあるため、ブラケットの切欠け部にリブが入るように入ります)。なお、パッケージトレイ付車は後方寄りに取付けると、パッケージトレイがバックドアと連動時に当たって全開しなくなります。

〔カスタムフィットスピーカーの記号〕

◎	取付可 (スピーカーに付属のコネクター使用)	⊕	取付可 (別売の配線コードでの配線が必要)
◇	取付可 (スピーカーに付属のブラケット等使用)	☒	取付可 (別売の「スピーカー取付キット」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要)
□	取付可 (別売の「スピーカー取付キット」使用)	㊦	取付可 (別売の「インナーバッフル」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要)
㊦	取付可 (別売の「インナーバッフル」使用)	X	取付不可
⊙	取付可 (配線加工が必要)	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明
⊕	取付可 (スピーカーに付属のブラケット等を使用し、配線加工が必要)		

〔ボックスタイプ/ユニットタイプスピーカーの記号〕

◎	取付可	△	取付可 (別売の「スパーサー」使用)
⊙	取付可 (鉄板加工が必要)	▲	取付可 (別売の「スパーサー」使用で、鉄板加工が必要)
○	取付可 (スピーカーに付属のスパーサー使用)	□	取付可 (別売の「スピーカー取付キット」使用)
●	取付可 (スピーカーに付属のスパーサー使用で、鉄板加工が必要)	X	取付不可
		空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

〔サテライトスピーカーの記号〕

○	取付可	(X)	取付不可 (サードシート未使用時に限り取付可)
		X	取付不可
△	条件付きで取付可 (注記参照)	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報 (PDF) の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。